



3/9 カードや千羽鶴に込めた想い



▲メッセージカードを手に、生徒と記念撮影をする鈴木病院長

向陽中学校の代表生徒12人から市立総合病院の医療従事者へ、感謝やエールを伝えるメッセージカードと千羽鶴が贈呈されました。

黒川芽聖さん(3年)は、「医療従事者の皆さんを少しでも元気づけたいという気持ちでメッセージを書きました」と話し、鈴木病院長は「元気の源をもらいました。頂いた多くのメッセージと千羽鶴は、職員の活力になります」と話しました。

3/3 ワクチン接種研修を自主開催



▲ファイザー社の協力のもと、研修を受ける参加者

市内の薬局薬剤師の皆さんが、新型コロナワクチンを製造するファイザー社と協力し、「ワクチンの希釈や分注作業」の自主研修会をiプラザで開催し、ワクチンの基礎的な知識や技術を学びました。

参加者の有海正州さんは、「これまでのワクチンと違い、ワクチンの入った容器から注射器に液を入れるところの調整が難しく、研修の機会があって良かった」と話しました。

3/11 磐田市×玉野市 記念切手完成



▲玉野市とオンライン交流をする渡部市長(左奥)と3局の郵便局長

大石修福田郵便局長、鈴木貴久磐田富士見郵便局長、鈴木康仁磐田二之宮郵便局長が渡部市長を表敬し、磐田市と玉野市の友好都市提携5周年を記念して作製したオリジナルフレーム切手の贈呈式が行われました。同時刻に玉野市でも贈呈式が行われ、両市はオンラインによる交流で、友好を深めました。

市長は「この切手が、両市のPRに繋がることを期待しています」と話しました。

3/8 豊岡に新たな救急車を配備



▲新たに配備された救急車の点検作業をする市消防署職員

市民の安全・安心を守るため、新たな救急車が磐田市消防署豊岡分遣所に配備され、配属式が行われました。この車両は、救急救命士が使用する高度救命処置用資機材が搭載されているほか、衝突安全装置などが備わり車両本体の安全性も高くなっています。

矢部消防長は「高価な車両を市民から託されているということを忘れず、有事の際は市民を守るためしっかりと活用して欲しい」と職員に訓示しました。



3/20 ありがとう、岩田こども園



▲閉園式後には「ありがとうの会」が行われました

令和2年度末をもって68年の歴史に幕を閉じる岩田こども園で、閉園式が行われました。

本年度卒園児の1人である松浪向希まつなみこうきさんのお母さんは「向希の祖父は、この園最初の卒園児で、息子が最後の卒園児になりました。私もこの園を卒業し、親子3代でお世話になりました」と話してくれました。

当日は、4月から隣接地で民間法人が運営を開始する「岩田こども園」の新園舎竣工式も行われました。

3/14 ラグビー、ホームで大熱戦！



▲力強いキックを放つ五郎丸選手

ヤマハスタジアムで、ラグビートップリーグ2021第4節 ヤマハ発動機ジュビロ対キャノンイーグルスの試合が行われました。

試合は32-40で敗れましたが、ヘル ウヴェ選手ヘル ウヴェの2トライなどもあり大熱戦となりました。

今季限りで引退を表明している五郎丸歩選手は「ファンの皆様に支えていただき、13年間戦ったこのスタジアムは思い出深い場所です」と話しました。

3/28 合併後15年間を振り返って



▲磐田市制施行15周年記念式典に参列する参加者

合併15周年を振り返り、磐田市のさらなる発展を願い記念式典が開催されました。式典では、市勢功労者や市民賞精励賞の表彰などが行われました。また、今之浦公園と今之浦市有地の令和2年度の公園整備が完了し、同日に完成記念式典も行われました。

新成人代表の國松士くにまつあきらさんは「明るい未来のために何ができるか考え、故郷に還元できるように精進したい」とメッセージを発信しました。

3/15 健やかな成長を願って



▲永井新次会長から目録を受け取る児童たち

子どもたちの豊かな心が育まれることを願い、磐田地区労働者福祉協議会から市内の放課後児童クラブへ、書籍50冊が寄贈されました。磐田中部小学校の放課後児童クラブで贈呈式が行われ、同協議会の永井会長から児童へ目録が手渡されました。寄贈したくのは今年で10年目になります。

村松教育長は「子どもたちの教育に役立ちます。大変ありがたいです」と感謝の言葉を伝えました。